

設計資産の管理とその有効活用方法

2008年6月

サイバネットシステム株式会社 応用システム第2事業部

永松 / 木山

orcad@cybernet.co.jp

つくる情熱を、支える情熱。

CYBERNET

はじめに

近年の設計現場においては、低コストや高品質の製品を提供することはもちろんのこと、早期に製品を市場に投入できることが競争に勝つための必須条件となっております。そのためには、設計資産を効率的に管理し、突発的な仕様変更にも柔軟に対応できるシステムを構築する必要があります。

本セッションでは、弊社がご提供している「設計データ管理システム:EDM」を用いた設計資産の管理と効果的な活用方法について紹介いたします。

設計フローにおける成果物

設計の各プロセスにおいては、様々な成果物が発生します。
ここでは、「設計レビューとトラブル対策」における成果物についてみていきます。

仕様設計

業務分担

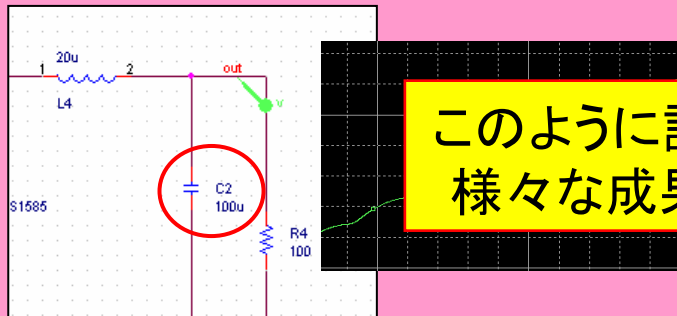
設計開始

レビュー

トラブル対策

設計完了

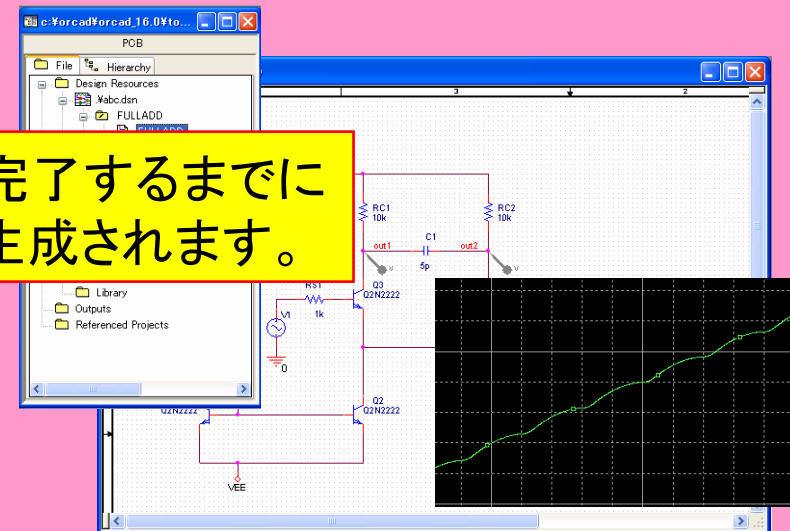
<トラブル対策報告書>



電源のリップルが大きすぎるため、コンデンサの容量を小さくして対応。→トラブル解消

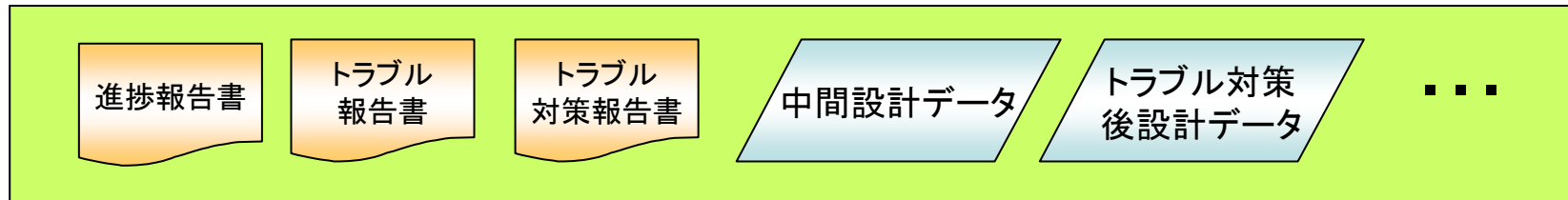
このように設計が完了するまでに
様々な成果物が生成されます。

<トラブル対策後設計データ>



設計資産管理における問題点

突発的な仕様変更に対応するには、成果物を有効に管理する必要があります。



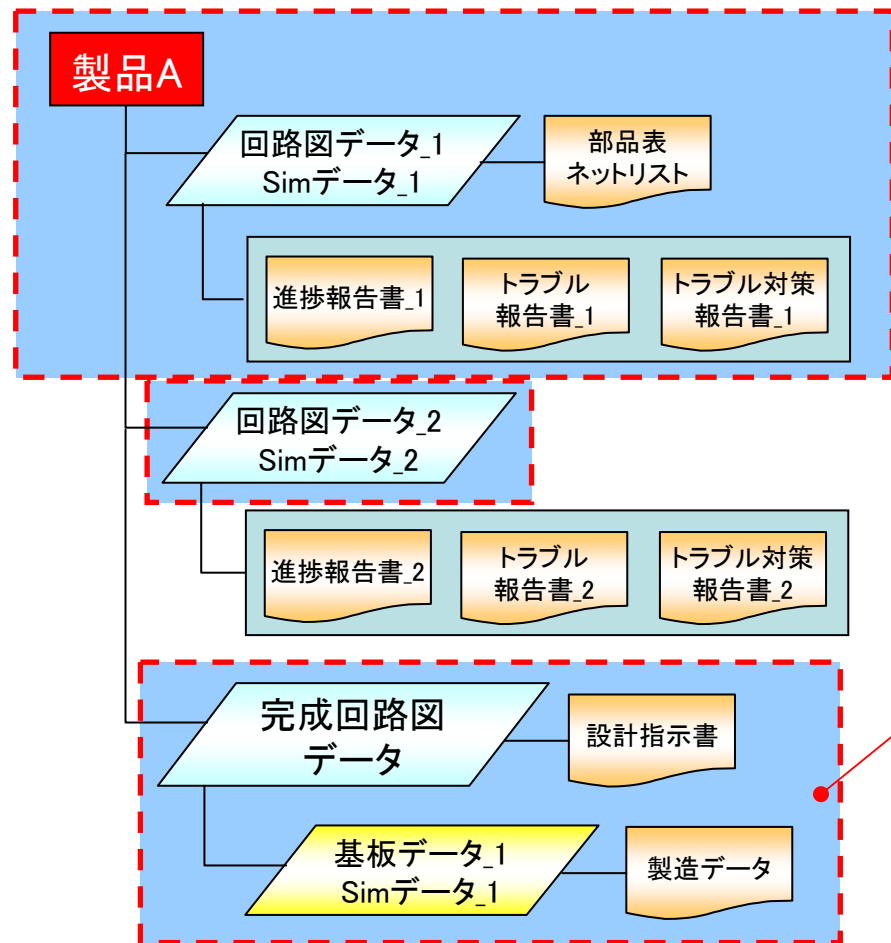
これらの成果物は管理できているでしょうか？ 以下のような問題を抱えていませんか？



サイバネットシステムでは、このような問題を解決するソリューションをご提案いたします。

効率的な設計資産管理

弊社がご提供している「設計データ管理システム:EDM」では、以下のような設計資産管理が可能です。



設計資産をプロジェクト単位で管理

全ての資産を関連付けて管理

設計変更履歴は、版数にて管理

プロジェクト内のドキュメントを用語にて検索可能
→ノウハウ蓄積のデータベースとしても利用可能

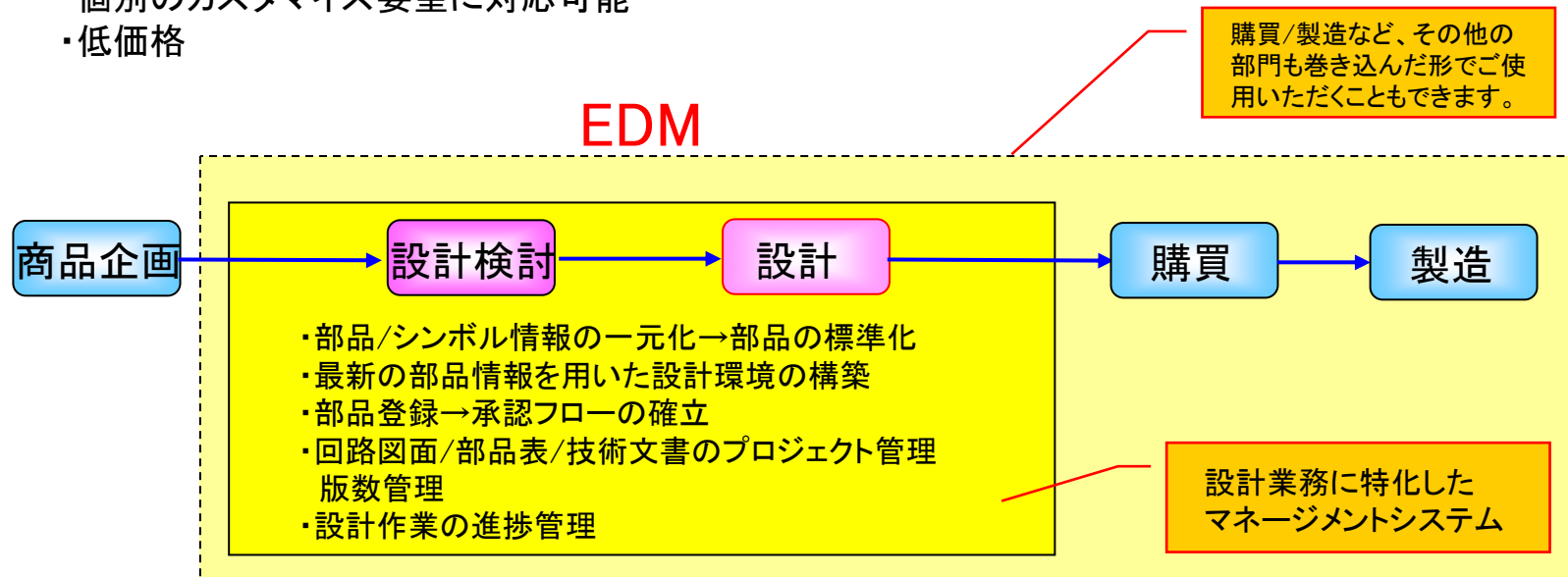
流用設計時は、各データ
単位で流用が可能

設計データ管理システム:EDMのご紹介

EDMとはEngineering Data Management systemの略称です。
製品の仕様を定義する各種情報を統合一元管理を図るPDM (Product Data Management)に対し、EDMは、設計業務に特化し、各種情報の統合化、プロセスの効率化を図る製品となっております。設計資産の管理だけでなく、設計で用いる部品情報の管理までを行なうことができます。

◆弊社で提供するEDMの特長

- ・Webアプリケーション(簡単アクセス、メンテナンス容易)
- ・シンプル(最小構成、最小機能、簡単操作)
- ・個別のカスタマイズ要望に対応可能
- ・低価格



早期に製品を市場に投入するために、設計環境において必要なのは設計資産の管理です。
しかし、人的作業にて設計資産を有効に活用することは非常に難しい作業です。

弊社がご提供している「設計データ管理システム:EDM」を用いることで、この問題を解決することができます。

設計資産と管理と合わせて、部品情報まで管理することで、設計プロセス全体の効率化に繋がります。

『PCBソリューションセミナー』のご案内

JPCA2008
Show
第38回国際電子回路産業展

回路設計(エントリーから部品管理まで)から基板設計・解析(熱・SI・PI・EMIなど)まで
本展示会でご紹介した内容をより詳しくご説明する技術セミナーを開催します！

東京(東京コンファレンスセンター品川) : 7/29(火)

大阪(マイドーム大阪) : 8/5(火)

いずれも 13:30~16:50 (受付開始13:15~)

- 基板搭載部品情報の管理手法
- 回路動作から推察するプリント基板熱解析(最新熱解析手法)
- 回路設計~プリント基板へのシームレスな環境提案
- SI解析における実戦的電気回路モデル
- 誰でも簡単にEMI検討



詳細・お申し込みはこちら！

http://www.cybernet.co.jp/eda/seminar_event/pcb.html